

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 5 月 10 日 (2024.5.10)

【国際公開番号】 WO2023/058241
【出願番号】 特願 2023-552670 (P2023-552670)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/285(2017.01)

G 0 6 T 7/70(2017.01)

G 0 6 T 7/20(2017.01)

G 0 6 T 7/00(2017.01)

10

【F I】

G 0 6 T 7/285

G 0 6 T 7/70 A

G 0 6 T 7/20 3 0 0 Z

G 0 6 T 7/00 6 6 0 Z

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 2 月 14 日 (2024.2.14)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のカメラのそれぞれが撮影した複数の画像から、人物の頭領域をそれぞれ特定し、
前記複数の画像から特定した前記頭領域の位置を基にして、同一の人物に対応する頭領域の組を特定し、

同一の人物の頭領域の組の 2 次元上の位置と、前記複数のカメラにそれぞれ設定されたパラメータとを基にして、3 次元上の人物の頭の位置を特定する
処理をコンピュータに実行させることを特徴とする追従プログラム。

30

【請求項 2】

前記同一の人物の頭に対応する領域の組を特定する処理は、第 1 画像に含まれるエピソード線であって、第 2 画像に含まれる頭領域に対応する前記エピソード線と、前記第 1 画像から特定された頭領域との距離を基にして、前記第 1 画像に含まれる頭領域と、前記第 2 画像に含まれる頭領域とが、同一の人物に対応する頭領域であるか否かを特定する処理を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の追従プログラム。

【請求項 3】

前記第 1 画像に含まれる頭領域の大きさ、および、前記第 2 画像に含まれる頭領域の大きさを基にして、前記距離を修正する処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項 2 に記載の追従プログラム。

40

【請求項 4】

第 1 のタイミングおよび第 3 のタイミングで複数のカメラのそれぞれが撮影した複数の画像を基にして特定された 3 次元上の人物の頭の位置を基にして、前記第 1 のタイミングと前記第 3 のタイミングの間の第 2 のタイミングにおける 3 次元上の人物の頭の位置を推定する処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項 1 に記載の追従プログラム。

【請求項 5】

前記 3 次元上の人物の頭の位置を特定する処理は、連続する画像フレームを含むウイン

50

ドウ区間毎に、前記３次元上の人物の頭の位置の軌跡情報を特定し、各ウインドウ区間の軌跡情報を関連付ける処理を更にコンピュータに実行させることを特徴とする請求項１に記載の追従プログラム。

【請求項６】

複数のカメラのそれぞれが撮影した複数の画像から、人物の頭領域をそれぞれ特定し、前記複数の画像から特定した前記頭領域の位置を基にして、同一の人物に対応する頭領域の組を特定し、

同一の人物の頭領域の組の２次元上の位置と、前記複数のカメラにそれぞれ設定されたパラメータとを基にして、３次元上の人物の頭の位置を特定する

処理をコンピュータが実行することを特徴とする追従方法。

10

【請求項７】

複数のカメラのそれぞれが撮影した複数の画像から、人物の頭領域をそれぞれ特定する第１特定部と、

前記複数の画像から特定した前記頭領域の位置を基にして、同一の人物に対応する頭領域の組を特定する第２特定部と、

同一の人物の頭領域の組の２次元上の位置と、前記複数のカメラにそれぞれ設定されたパラメータとを基にして、３次元上の人物の頭の位置を特定する第３特定部と

を有することを特徴とする情報処理装置。

20

30

40

50